

第3回 ネイチャー・インダストリー・アワード 受賞について



(一財) 大阪科学技術センタ

ーにて第3回ネイチャー・インダストリー・アワード※¹が開催され、生活・環境産業部 山際秀誠主査研究員、オーヤパイル(株) 大家健司 取締役社長、エコ和歌山(株) 中田祐史 代表取締役の連名による「食物連鎖を利用したパイル担体活性汚泥法（通称：ESCAPE法※²の開発）が技術開発委員会賞※³を受賞しました。この賞は、これまで大学の研究者が受賞してきており、地方公設試での受賞は初めてです。

本研究は、生物処理を行う活性汚泥槽※⁴にパイル織物からなる固定化材を設置することで、槽内の微生物種を豊富にして食物連鎖を活性化させると共に食物連鎖の上位者であるミミズの仲間を多く保持させ、汚泥の減容化を進め、80%以上の汚泥減容化を維持できることを実際の排水処理設備で実証いたしました。

本研究内容は大阪科学技術センターのホームページにおいて掲示されるとともに、日刊工業新聞の特別紙面（全国版、1月ごろ掲載予定）で紹介されます。

※1 「自然に学ぶ」「自然を利用する」「自然と共生する」研究を対象とした若手研究者支援事業

※2 パイル担体を用いた汚泥減容化システム（Excess Sludge reduction system using Carriers based on acrylic Pile fabrics）の略称

※3 実用化の可能性が高い技術シーズに与えられる賞

※4 生物を利用した排水処理法で、最も一般的に利用されている方法